

景観施策の取り組みについて

1. ここに残る景観展 2024

景観資源を発掘、蓄積、共有し、指定することで市民意識の高揚を図り、良好な景観に寄与することを目的として、平成24年度から令和4年度まで実施してきたここに残る景観資源発掘プロジェクトにおいて、これまでに指定した景観資源すべてを市内の公共施設等にて巡回展示。

◆内容

- ・これまでに指定した全106件の景観資源
- ・きしわだ景観まち歩きおすすめルートマップ

◆展示期間と場所

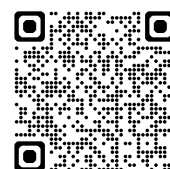
9月28日(土)～11月29日(金)

- ・市内5市民センター
- ・岸和田カンカンバイサイドモール
- ・市立産業高校(学校関係者のみ対象)



◆並行開催：「教えて！あなたの“おすすめ景観”」

岸和田のまだあまり知られてない素敵な景観を広めることを目的に、ここに残る景観資源に限らず、市内のさまざまな景観写真を募集(景観展と同期間)。応募景観20件を市のホームページ等で紹介。



2. ここに残る景観資源デジタルスタンプラリー

秋のどんチャカフェスタに合わせて、旧市街地周辺のここに残る景観資源を巡るデジタルスタンプラリーを開催。スマートフォンでQRコードを読み取ることで参加でき、対象の景観資源スポット付近でスタンプを獲得することができる。獲得したスタンプ数に応じて、オリジナル景観グッズをプレゼント。

- ・開催日時：11月10日（日）10時～16時
- ・受付場所：南海岸和田駅前オープンカフェ内
特設ブース
- ・総括：オープンカフェ内にブースを設置したが、他のブースとの区別がしづらく、また、事前周知は行わずに実験的に行ったため、あまり多くの方に参加いただけなかった。次回は、事前周知を行い、多くの方々の目に留まるよう工夫が必要。



3. 他担当での取り組み

◆花いっぱい推進プロジェクト【令和6年12月4日】

『岸和田駅東地区景観まちづくり協議会』が、地区内沿道を花で満たす活動。協議会が地区内小学校とともに花植えプランターを作成し、沿道の商店等に配付。プランターを沿道に設置し、花の育成・世話をを行うことで良好な景観を作っている。



◆ガーデニングショウ【令和7年5月11日～30日】

『地域の魅力・顔づくりプロジェクト《東岸和田駅東地区》推進協議会』が東岸和田駅東側歩道空間を花植えバスケットで彩るガーデニングショウを実施。期間中、エリア内は色とりどりの花で満たされ、観光客を含めた多くの人々が足を止めて花を鑑賞しており、景観向上・観光促進にもつながっている。



4. アスマイル活用事業

大阪府の健康活動マイレージアプリ「アスマイル」を用いたウォーキングイベントを実施。現地に設置した QR コードを「アスマイル」アプリから読み取ることで、ポイントをためることができる。

◆岸和田市景観ウォーキング【塔原町のサクラ】

(ここに残る景観資源おすすめ周遊ルート(岸和田市景観 LPP))

【塔原町のサクラの概要】

平成 24 年 ここに残る景観資源発掘プロジェクト
(樹木①) にて指定

平成 29 年 岸和田市景観重要樹木指定第 2 号



(令和 6 年 4 月 10 日撮影)

- ・ イベント内容：多くの方に、塔原町のサクラをウォーキングで訪れていただき、健康増進とともに景色を楽しんでいただく。
- ・ イベント期間：令和 7 年 3 月 22 日(土)～4 月 6 日(日)(開花状況により延長)
- ・ 周 知 方 法：広報誌、ホームページ、SNS など